

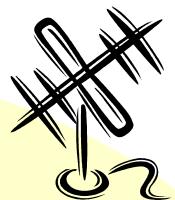
アウトドア派・宴会派



ナビゲーション楽しみ派



道具改良楽しみ派



# ARDFなう

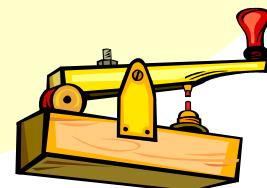
@ardf\_jp & #ardf



アスリート派



ゆっくりハイキング派



移動運用楽しみ派

Please follow me! @ardf\_jp

無線方探展示委員会  
平成24年(2012年) 8月25日・26日

# もくじ

ブース展示概要	1
2012 ALL JAPAN ARDF CHAMPIONSHIPS	2
全日本大会の変遷	4
パーク A R D F へのお誘い	5
A R D F 甲子園in阿賀野の攻略	7
FT-817+ホイップアンテナでA R D F ができるのか	9
A R D F 関係W e b サイト	10
何気ない一言から始まる — 3.5MHz帯/144MHz帯のデュアルバンド化	11
ヘイローアンテナの製作	14
中国製受信機を共同購入しませんか？	17
A R D F だより	
1 エリア(茨城)	18
1 エリア(栃木)	19
1 エリア(群馬)	20
3 エリア(奈良)	21
4 エリア(広島)	22
6 エリア(宮崎)	23
9 エリア(富山、石川、福井)	24
φ エリア(新潟)	25
φ エリア(長野)	26
A R D F 関連競技会の開催状況	27
付録	
A R D F 競技大会参加申込書	コピーしてお使いください

# ブース展示概要

(予告なく変更している場合があります)

## アマチュア無線の新しい楽しみ方の提案 < A R D F >

### 1. 体験コーナー

ブース内で3.5MHz方向探索体験ができます。

### 2. 映像展示(常時連続表示させています)

- ・A R D F 紹介(約30秒の簡単早分かりスライドショー)
- ・大会の様子紹介(国内・国際大会の様子や流れがわかります。5分弱)
- ・競技再現(各競技者の実際の動きを地図上で再現)
- ・各種写真のスライドショー

### 3. 壁貼り展示

- ・「アマチュア無線の新しい楽しみ方の提案」～A R D F～
- ・A R D Fの歴史(大会開催データ。貴宅のお近くでも開催?)

### 4. 物品展示

- ・謎のU F Oアンテナ  
(水平偏波・無指向性で、ターンスタイルより小型のヘイローアンテナ)
- ・自作受信機、A R D F グッズなど

### 5. ブース外イベント

#### 5-1. A R D F お試し会

ハムフェア会場脇の小さな公園でT X(送信機)を探してみましょう。

所要時間は15分～45分です。

ブース係員がご案内しますので、お気軽にお声がけください。

#### 5-2. 初心者練習会

関東近郊で開催した練習会に、多くのA R D F 初心者の方にご参加頂きました。

4回全てに参加された方もいたほどで、A R D F の入門編として好評でした。

今年も練習会を計画しておりますので、ブース係員までお尋ねください。

平成24年(2012年)1月24・25日、岐阜県で開催



# 2012 ALL JAPAN ARDF CHAMPIONSHIPS

申込期限：9月30日！

JA2WCC 北村章

## 1. 競技の開催にあたって

今年は、岐阜県で「清流国体」と銘打ち、国民体育大会が岐阜県で開催されます。これに合わせた訳ではありませんが、同じ岐阜県で全日本ARD福競技大会が開催される運びとなりました。岐阜県では、全日本ARD福競技大会を開催するのは初めてのこと、JA RL岐阜県支部のスタッフを中心に、手探りの状態で準備を進めているところです。

岐阜県は、大都市の名古屋から比較的近い位置にあり、地理的にも日本の中心に位置しますので、全国から集まつていただくには丁度よい場所ではないかと思います。また、岐阜県は非常に自然に恵まれた場所柄、ARD福の開催場所に困ることはございませんが、今回は皆さんの集合のことも考え、比較的都市部に近い場所を選択いたしました。

JARLの中では、ARD福を取り巻く情勢はいっそう厳しいものがあることは、みなさんご承知のとおりです。今年度は、JARLからの全日本ARD福競技大会に対する拠出金についても半減に圧縮され、今までと同じ規模ではとても開催できません。いろいろな、経費の縮減策を考えて、最低限の予算執行で開催を考えて何とか開催できる目処が付きました。このあたりを選手の皆さんもご理解をいただき、ARD福の存続のため頑張っていきたいと考えていますので、ご協力いただきますようお願いをします。



## 2. 周辺観光案内

さて、せっかく岐阜まで来ていただくなので、ここで岐阜県の名所、名物、見どころなどを紹介させていただきたいと思います。

### ①温泉

岐阜県は何と言っても温泉が有名です。下呂温泉は日本の三大温泉に数えられる第一級の温泉地ですが、会場周辺にもそれなりに良い温泉がたくさんあります。今回、ご紹介させていただいたのが「長良川温泉」です。長良川温泉は岐阜市に立地し、JR岐阜駅から30分ほどで行くことができ、会場と岐阜駅の丁度中間位置にあたります。道の駅で車中泊もリーズナブルでいいですが、ちょっと贅沢をしてみても後悔はしないと思います。

## ②長良川

この温泉は、1級河川の長良川の両岸にあります。この川での鵜飼はあまりにも有名です。それにもまして、この長良川は多くの歌謡曲に歌われるよう非常に美しい川です。奇しくも、水森かおりの「ひとり長良川」が今ヒット中です。



岐阜城から臨む長良川

## ③岐阜城



岐阜城

長良川温泉は岐阜公園に隣接し、標高329mの金華山の頂上に難攻不落の城といわれた織田信長築城の岐阜城がそびえています。ロープウェイが岐阜公園から出ていますが、登山コースも用意されていますので、トレーニングにいかがですか？

ちなみに 岐阜城は、かつて稻葉山城と称していました。金華山頂にはじめて砦を築いたのは、鎌倉幕府の執事二階堂山城守行政と伝えられています。戦国時代には、斎藤道三公の居城でもあったところです。

## ④紅葉

秋といえば、なんといっても紅葉のシーズンです。でも、ちょっと紅葉の旬は過ぎてしまっているかもしれません、岐阜県は県域全体が紅葉の名所といつてもいいくらい自然に恵まれています。

西濃地域では、なんと言っても谷汲山の紅葉はあまりにも有名です、東濃地域では、曾木公園の水面に写った逆さ紅葉のシンメトリーがすばらしいですね。



紅葉前の谷汲山

### 3. 申し込み・問い合わせ先

〒170-8073 東京都豊島区巣鴨一丁目14-5

JARL業務部業務課 「2012全日本ARD F競技大会」係

TEL : 03-5395-3112

皆様のご参加をお待ちしております

# 全日本大会の変遷

## 【全日本ARD F競技大会の歴史】

- FOXテーリング全国大会 (JARL後援)  
1987(昭和62)年 静岡県富士宮市  
1988(昭和63)年 静岡県富士宮市
- FOXテーリング全国大会 (JARL主催)  
第1回 1989(平成元)年 埼玉県狭山市
- 全日本ARD F競技大会に名称変更  
(JARL主催)  
第2回 1990(平成2)年 兵庫県三木市  
第3回 1991(平成3)年 静岡県富士宮市
- 地方大会からの選抜大会  
第4回 1992(平成4)年 長野県高遠町  
第5回 1993(平成5)年 熊本県富合町  
第6回 1994(平成6)年 愛媛県久万高原  
第7回 1995(平成7)年 北海道江別市  
第8回 1996(平成8)年 秋田県大館市
- 選抜者以外のオブザーバー参加可能  
第9回 1997(平成9)年 富山県立山町  
第10回 1998(平成10)年 広島県本郷町  
第11回 1999(平成11)年 山梨県大泉村  
第12回 2000(平成12)年 福島県岩瀬村
- 選抜(地方大会)の廃止  
第13回 2001(平成13)年 新潟県黒川村  
第14回 2002(平成14)年 北海道砂川市  
第15回 2003(平成15)年 秋田県森吉町  
第16回 2004(平成16)年 岡山県川上村  
第17回 2005(平成17)年 石川県中能登町  
第18回 2006(平成18)年 静岡県富士市  
第19回 2007(平成19)年 兵庫県三木市  
第20回 2008(平成20)年 鹿児島県霧島市  
第21回 2009(平成21)年 茨城県土浦市  
第22回 2010(平成22)年 長野県富士見町  
第23回 2011(平成23)年 香川県さぬき市  
第24回 2012(平成24)年 岐阜県岐阜市  
第25回 2013(平成25)年 未定  
(JARL Webのものを加筆修正)

## 【解説】

FOXテーリングとして発足したARD Fは、1987年11月に朝霧高原で第1回全国大会を開催しました。当時はFOXテーリング協会が主催していました。JARLが主催したのが埼玉県の西武園からです。第2回からARD Fの名称となりました。

第3回からは、外国の大会の規則を参考に、JARL独自に規則を定めました。第4回からは、第3回の全国大会の上位者と全国で開催される地方大会の上位者だけが参加できる大会となりました。その全日本大会で上位者が世界の大会へ参加できます。

第9回からは、受入可能人数までは選抜者以外でもオブザーバー参加が認められ、第14回からは選抜大会はやめになり、だれでも参加できるようになりました。SIは第17回大会から導入されました。(同年9月にReg. 3大会が新潟県であり、用品が揃いました)

ARD Fが始まったころは、毎年多くの参加者があり、世界大会への選抜も兼ねていることから、本当に強い選手だけ参加できる大会の位置付けだったのですが、地方大会を毎年開催しなければならない負担などから、現状のような形になりました。

第16回からは3.5MHzが前日にエキビジョン競技として実施されました。第24回は144MHzがエキビジョンになり、以後交互に開催されます。

私は1987年に局免許をとりました。その年から全日本大会が開催されています。以後選手として12大会、審判長・副審判長・裁定長を各1回、審判員を3回経験しています。

どの大会にもそれぞれ想い出があり、苦しかった事や嬉しかった事が思い出されますが、やはり第4回～第8回までの選抜大会は大変でした。地方大会で選抜されたのは第6回だけで、いくら頑張っても選抜されず、自分の実力の限界を思い知らされていました。

JEOGTT 折井匡

# パーク A R D F へのお誘い

JL4NDN 黒木健太郎

## ■パーク A R D F とは？

2012年より「パーク A R D F」という種目を新設し、その普及活動を行っています。

7月末現在で関東エリアを中心に5回の大会を開催してきました。

A R D F の新しい楽しみ方のひとつとして、これから日本各地で開催されることを願っています。

そもそもパーク A R D F とは何なのか。厳密な定義はありませんが、私は以下のように考えています。

半径750m前後の競技エリア内に3～5個のT Xが設置されたテレインで地図と受信機を使って行われる、一回あたりの走行距離と所要時間が短いA R D F 競技

競技エリアを半径約750mと小さくしたのは以下の3つの狙いがあります。

### ①公園、広場等の新しいテレインの開拓・確保

近年、森林等の減少で大きなテレインの確保がますます難しくなりつつあります。

テレインの減少を嘆くのではなく、身近にある公園や広場を活用して、競技のやりかたを現実に合わせていこうという考え方です。A R D F の楽しさ、エッセンスさえ失わなければ、テレインの広さに執着しなくともよくなります。

### ②大会開催者の作業軽減による大会開催数の増加

大会の開催というのは手間のかかるものですが、半径約750mという縛りを設けることで、格段に開催の手間が少なくなり、少人数での運営が可能になることがわかりました。こういったノウハウを共有することで、全国でたくさんの方が「大会開催者」に手を上げていただけることを期待しています。

### ③「新しい競技スタイル」の確立

「長距離走」だけでなく「短距離走」があってもおもしろいのでは？と思いました。

通常は競技時間120分～140分に設定されます。半径約750mだとベテランの方ならすぐにT Xを見つけられると思いますが、例えば制限時間を30分に設定するとどうでしょうか？まったく新しいA R D F の競技になります。



横須賀YRPでの様子

## ■初心者も楽しめるA R D F 大会

本年5回実施してきたパークA R D Fですが、上記の狙い以外にも、初めてA R D Fを体験する人にたいへん好評でした。

ある大会を事例に「初心者向けパークA R D F 大会」の概要を書きます。

### <概要>

○開催場所：国営昭和記念公園 ※西立川駅から徒歩2分

○競技周波数：144MHz帯

○参加者：約20名（うち初心者は12名、スタッフ3名）

○当日のタイムテーブル：

- |       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 13:00 | 集合                               |
| 13:30 | A R D F 競技の説明（紙芝居「はじめてのA R D F」） |
| 13:45 | T X 推理ゲーム（R Xの操作練習を兼ねる）          |
| 14:00 | 一斉スタート（競技時間120分）                 |
| 16:00 | 競技終了（お菓子などを食べながら競技の話）            |
| 16:30 | 表彰式                              |

「T X 推理ゲーム」は、地図に100m毎にマス目を切り、座標を書きます。そしてスタート地点周辺でT Xの位置と距離を計測してもらい、その結果からT Xの位置を予測してもらいます。参加者にたいへん好評でした。

開催のポイントは以下の通りです。

- ①開催場所は交通の便の良いところを選定すること。
- ②開催案内に必ず受信機の貸し出しがあることを明記すること。
- ③できるだけ1つの公園、敷地内で行うこと。
- ④地図はインターネットマップや公園案内マップでもOK！
- ⑤ビーコンはなくてもOK。使う場合はスタート30分後にONにすること。
- ⑥初心者には途中までスタッフが一緒に回ること。2個目くらいまで。
- ⑦お菓子などを用意して、競技終了後に和やかな雰囲気で話せる雰囲気を作ること。
- ⑧次の練習会や大会の案内を準備しておくこと。

- ①、②を考慮することで、初めての人でもぐっと参加しやすくなります。場所が悪いときは、送迎を用意するとより良いです。
- ③にすることで、参加者が迷子になったり、交通事故に遭う心配が少なくなります。
- ⑥はスタッフから積極的に話かけ、無理にでも一緒に回りましょう。スタッフが足りないときは、グループになってもいいです。
- ⑦、⑧は今後も末永くA R D Fを続けてもらうための秘訣です。

## ■今後の展開

はじめてのA R D F体験の場として「パークA R D F」を全国に普及させるため、大会開催者を支援していく予定です。

パークA R D Fにご興味ある方は、黒木までお気軽にご連絡ください。

Eメール：[kenkurogi@gmail.com](mailto:kenkurogi@gmail.com)

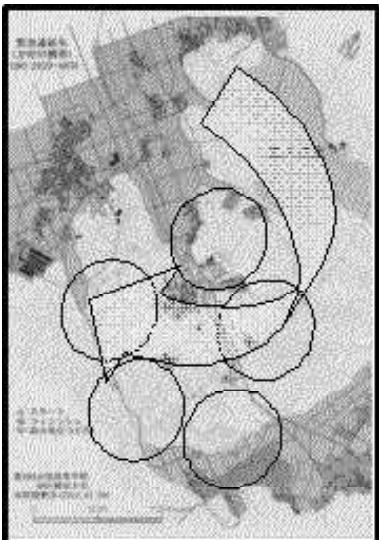
# ARD F甲子園in阿賀野の攻略

JF3KRL 菊一好史（巡回審判選手）

今年の全国高等学校ARD F競技大会（ARD F甲子園）は、過去6年間で使用された事のない初めてのテレインで開催されました。

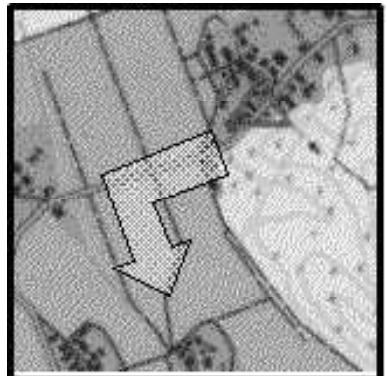
近年、高校生のレベルが上昇していますが、団体戦にエントリーされる選手は実力があるものの、それ以外の選手の技術・体力レベルにはとても不安が残ります。

実際に競技を行ってみると上位入賞者は探索数5個であり、下位層も無探索選手がかなり減ったようです。しかし下位層を中心に基本的なルールも理解しないまま参加する選手や、地図上で自分の位置を見失い、ゴールへ自力で戻れない選手がいる事はとても残念です。高校生の最高峰のこの大会に参加するからには、最低限の競技経験を積んで参加して頂きたいところです。

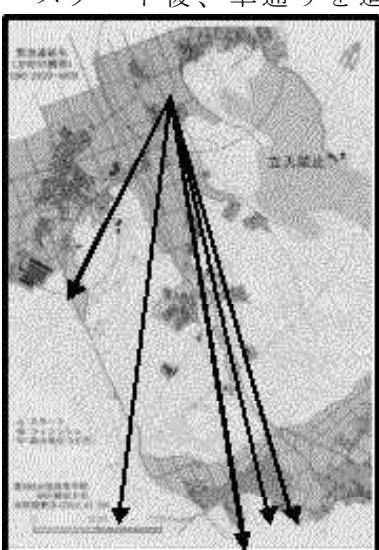


左の地図のようなテレインを選手は140分の制限の中で駆ける訳ですが、実力のある選手は1時間程度でゴールしています。走るのが得意な私自身でも1時間30分程度でゴールできました。この私、3月末に狭心症を患って死にかけたのですが、ARD F競技で鍛えられていたおかげで止まった心臓が動いて命拾いしていますので、ARD F大好きな私はこの攻略を書かせて頂くために巡回選手としてテレインに出ました。

競技ではスタート前に地図を見て予測を立てます。まず、スタートから南向きに時計回りに車で巡回出来そうな道がありますので、それらの道を中心に行路を考えてみます。スタートから750mと給水ポイント、ゴールから400mのルールに従って右のように予測が立ちます。



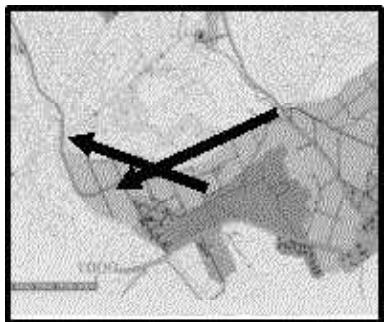
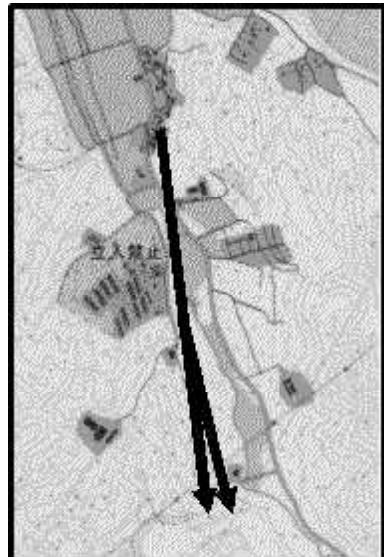
これらの予想を元にスタート後の最初の測定をします。しかし、この際に注意しなくてはならないのは、競技エリアに進む事を考えつつ、反射ができる障害物の少ない田畠の中を通過する道での測定が大切です。



スタート後、車通りを進んで探索開始地点より少し進み、南に曲がる道を進めば、自然に電線から干渉を受けない絶好のポイントがあります。各TXに鳴かせつつ、それぞれのTXの方向が求められたら残時間は真っ直ぐ進むことも可能です。少しでも750mのエリア外に出る努力が最終的に時間差となります。

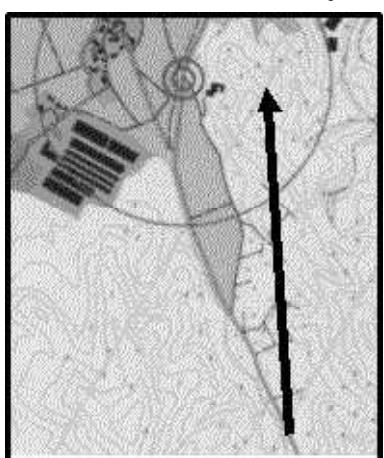
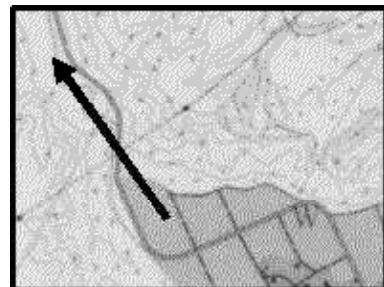
スタートしたら探索を始めます。左の地図上の線のように聞こえてきます。事前に予想して書いた円と比較すると、TX5の測量に少し不安要素が残りますが、遠いので進みながら順次測定して絞っていけば良いと判断して進みます。田畠の中の道を進みつつ、更にTX1の方向を求めますと、正面の集落の少し左に入る道が地図から読み取れますし、信号強度もかなり強くなり、距離感から位置を割り出します。

T X 1 をゲットしてから、給水ポイントを経由しつつ、T X 3 の方向を求めるに車通りから少し右側に振れて聞こえます。しかし立入禁止エリアには T X は置かれていませんので、その横にある道を進むことになります。ここで距離感が大切になります。距離感が無ければ手前の田畠を捜し求める高校生選手と同レベルです。実際はかなり距離があるように聞こえますので自信をもって立入禁止の側道を進めば次第に強くなっています。T X 3 はこのように側道を進んでゲットする方法と、道なりに道路進んで道から T X 3 方向に戻る形でゲットする方法があります。今回は、かなりサービスが良く、正面の柵扉に「A R D F 通過OK」の表示がありますので、ここに来た選手には、柵扉を進めという事です。このような表記があると自信をもって進んでいきますね。



T X 3 をゲットすれば、400m以内に他の T X は設置されていませんから、道路に戻って進むことになります。進むうちに分かれ道で測定すると真横に聞こえます。当然道なりに聞こえた方向に進むのですが、走力がない私は進んでいる間に T X が更に鳴いてくれます。毎年、給水ポイントトラップで泣かされた経験から、給水ポイントに立ち寄らず、その奥の草むらに突入し、事前に聞こえた方向にコンパスをセットして、真っ直ぐ進んでゲット出来ました。

続いて T X 4 ですが、かなり強く聞こえ出し、方向も最初の測定から求められている交点を見ると微妙な細い道が描かれています。当然その中にあると推測できます。今回は、ここに地図に描かれていない道があり、その道に川を渡る丸太橋が見えて錯覚、更にその山道へ進入してしまい、20分以上消費しました。同じ山道で高校生の選手を沢山見かけました。もしかすると、私のフラッグ色のウェアが見えて吸い寄せられたのかもしれません。ゴメンナサイ。



残るは T X 2 ですが、ゴールへ向かう道路の右手に方向が出ます。そして、信号強度もかなり強いので高台にありそうです。悩まず受信機の示す方向に進みますが、仰角まで求められる受信機とアンテナ性能があれば、道路からかなり上に向かっていますので簡単にゲットできます。

今回のテレインは、走力の有無で時間差が出てしまいます。T X は素直に教科書通りに設置されていますし、無指向性の水平偏波であるヘイロー・アンテナですのでとても信号が強く聞こえます。各自の受信機を用いて、事前に距離感を身につける事と、アンテナの指向性のズレ角度をしっかりと理解しておく事も大切です。折角の持っている体力・走力を無駄に消費しない為にも、「アマチュア無線の競技」であることを忘れず、受信機を駆使して、電波の特性を理解して正確な測向を取り入れる事で、もっと成績が上がると思います。

今回の A R D F 甲子園に参加された高校生達は、是非この記事を参考にして頂いて、これから大会で成績を向上させて頂きたいと思います。

# 挑戦！ FT-817 + ホイップアンテナで ARD Fができるのか

JQ1CON 高雄宏治

## ■ FT-817 + ホイップアンテナで ARDF を楽しめるのか？

平成23年(2011年)のある大会ではハンディ+ホイップで1～2個探索できた選手がいました。それではと、平成24年(2012年)7月14日の蒸し暑い東京都立川市、パークARDFの場で試してみました。私自身、ARDFを始めた時から専用受信機を使っていましたので、「アマチュア無線機+無指向性アンテナ、アッテンネーター無し」は未知の領域でした。今回は144MHz帯での探索です



図1.FT-817とRF-2D

## ■ 実験方法

FT-817+付属ホイップを用い、受信モードAMで受信。無線機を手に持ち方向を変えて、聞こえてくるA2A信号の強さで送信機方向を探る。目標はTXを1個見つけること。さらにその後、ARDF用受信機RF-2Dに持ち替えて探索。それぞれGPSロガーで移動の様子を記録する。



図2.FT-817で探索

移動距離: 2.5km  
平均速度: 3.9km/h

## ■ 実験結果 1

(図2.FT817+Whip)

FT817+Whipでは、TX2に近づくにつれ方向が判らなくなり、小高い林のなかで途方に暮れ、諦めて帰った軌跡がわかる。遠方からの軌跡は送信機に向かっているのに、直近で訳のわからない方向に移動している。図4の移動速度を見ても、送信機直近で方向がわからず動けなくなっている。

## ■ 実験結果 2

(図3.RF-2D)

RF-2Dでは遠距離近距離ともにはっきり方向がわかり、TX1からTX5まで無駄なく移動できた様子がわかる。図4の移動速度も、方向がわかるので迷いがなく、思い切って移動できている。



図3.RF-2Dで探索

移動距離: 4.9km  
平均速度: 6.1km/h

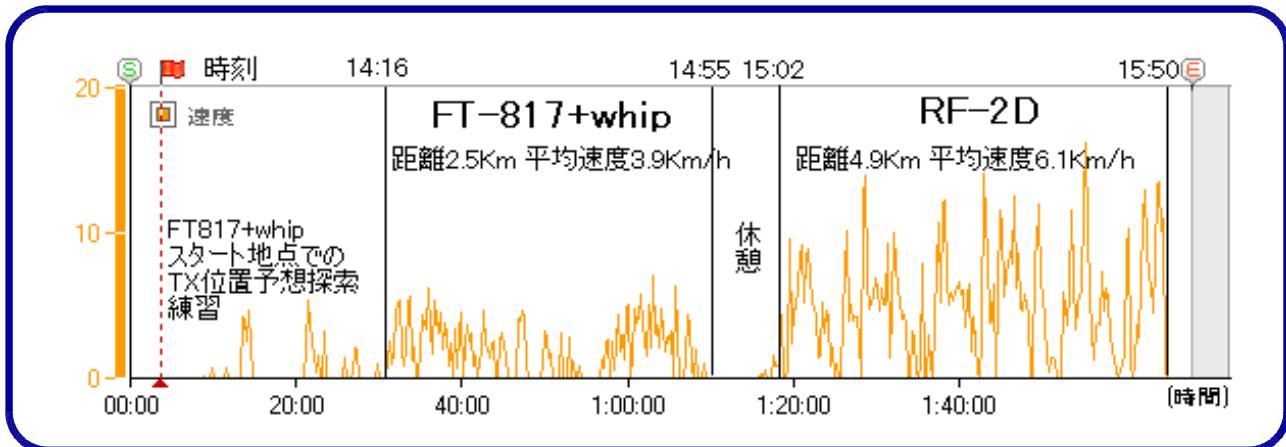


図 4 . FT817/RF-2Dでの移動速度比較

## ■ 結論

FT-817+ホイップで探索を行うのは非常に難しく、現実的ではありません。  
初心者は専用機を借りることをお勧めします。

# ARDF 関係Webサイト

◇一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 (J A R L)

<http://www.jarl.or.jp/>

◇ J N 2010年冬号の「ARDFに挑戦しよう」特集

[http://www.jarl.or.jp/Japanese/1\\_Tanoshimo/1-5\\_ardf/arfd.htm](http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/arfd.htm)

[http://www.jarl.or.jp/Japanese/1\\_Tanoshimo/1-5\\_ardf/2010winter-arfd.pdf](http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/2010winter-arfd.pdf)

◇ ARDF 日本

<http://www.ardf.jp/>

◇ 全国高文連アマチュア無線専門部設立準備会

<http://www.ishitani.com/zenkok-ama/>

◇ 全国高文連アマチュア無線専門部設立準備会 ARDF 委員会

<http://zenkok-ama.08ardf.com/>

## ご寄付のお願い

本年も多くのARDFeerの皆様から貴重な募金を頂き、無事出展することができました。来年もハムフェアへ出展できるよう、またARDFの発展、普及につながる活動に取り組めるよう、皆様のお気持ちを宜しくお願ひ致します。

ゆうちょ銀行 記号：10250 番号：41926451

名義：無線方探展示委員会

他金融機関からは ゆうちょ銀行 028店 普通4192645

# 何気ない一言から始まる

3.5MHz帯/144MHz帯の"デュアルバンド化"

JL1GDQ 柴田哲

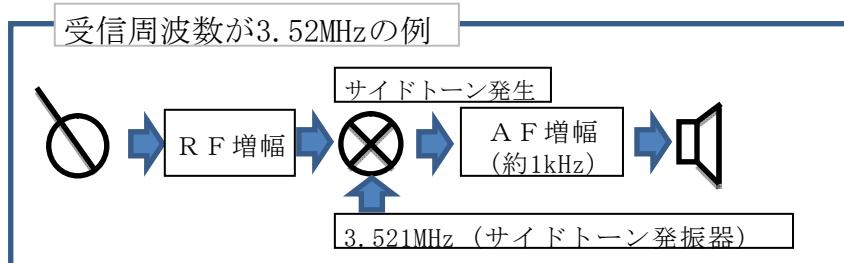
2007年9月のある日、残暑が続き暑い中3.5MHz帯と144MHz帯の2波同時に練習をしていた時のこと、ある高校生の口から一言「3.5MHz帯の受信機で144MHz帯の信号も聞けると受信機を2台持たなくてもいいから楽だよね、逆に144MHz帯の受信機で3.5MHzの信号を聞く方法でもいいけど」こんな言葉が聞こえてきました。その時には無理だろうと心の中で思っていました。・・・周波数も違うし変調方法も違うからね。

無理だろうとは思いつつ脳裏から離れない。

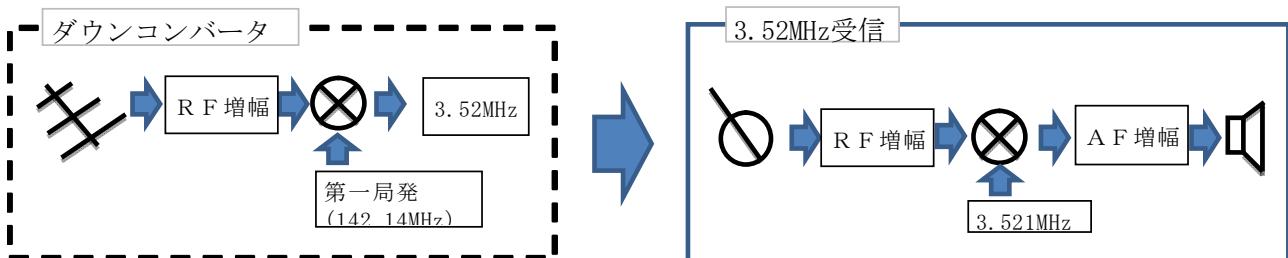
練習会の終了後自宅に帰る車の中で「無理だろう」と思っていた"デュアルバンド"のことを思い出し、頭から離れないまま自宅に到着。それからは開けても暮れても"デュアルバンド化"が頭から離れず、通勤途中の電車の中でも受信周波数「145.66MHz/3.52MHz」、中間周波数「10.7MHz」、フィルタの周波数といった数字が頭の中でぐるぐる回る日々が続きます。

もともと3.5MHzのダイレクトコンバージョンの受信機をメインで開発をしていて、144MHz帯の受信機を作るなんて考えもしていましたので回路のことはほとんど解っていませんでした。

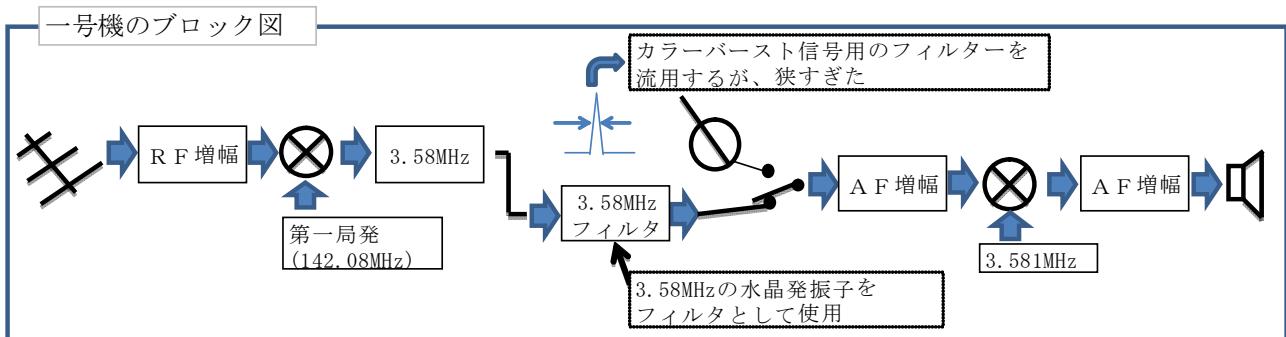
これは、自分が作っているごく普通の3.5MHz帯受信機のブロック図です。



もしも、3.5MHz帯の受信機で144MHz帯を受信しようとしたらどうすれば良い?いろいろな方に相談してみたところ"ダウンコンバータ"の話がでてきたので自分なりに考えてみました。例えば、144MHz帯の電波をダウンコンバータで3.52MHzに周波数変換し、3.5MHz帯の受信機で3.52MHzにチューニングすれば聞こえるのでは?



ここからが楽しい開発の始まりです！ダウンコンバータを使用して実用に向け回路を試作し、“デュアルバンド”の一號機として完成したのがこちらです



この時は3.5MHz帯の受信機にダウンコンバータユニットを外付けしたため強度的に問題があり、次号機からは強度を高めるためにダウンコンバータユニットとメイン基板の一体型にして本格的に“デュアルバンド”的開発を進めました。開発に当たり、基本の回路を144MHz帯にするのか3.5MHz帯にするのか？と試行錯誤し、144MHz帯のダブルスーパーでI F周波数は10.7MHzと455kHzを使用する方法をベースに考えるのが良さそう、という結論に落ち着きました。・・・ I Fの10.7MHzクリスタルフィルタは容易に入手ができそうで特性的にも良いですからね。

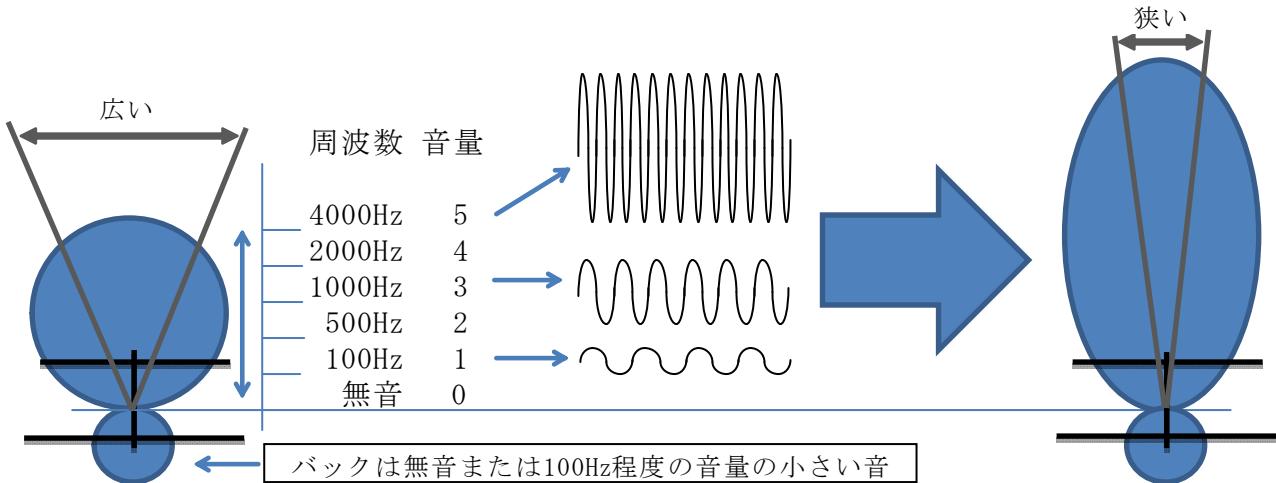
R F部は144MHz帯と3.5MHz帯を別にし、第一局発とミキシング、第一局発は144MHz帯はPLL(154.7MHz)を、3.5MHz帯はVFO(14.2MHz)を用い、各々10.7MHzを取り出します。I F回路以降のA Fアンプおよび耳S回路までは共通利用です。

3.5MHz帯はA1Aのため音声周波数の変調が無く、サイドトーンを発生させるための発信器を追加する必要がありました。全体的には共通利用の回路があるために部品点数を削減することができました。

さらに改善を進め、小型軽量化に取り組みました。

#### ①耳Sの特性改善

図のように信号の強弱を周波数に置き換えるとともにメリハリを付けるために周波数が高くなるにつれて音量も高くなるようにしました。聞いた感じはフロントとバック比の向上と探査角度が狭くなったように感じられたため、耳Sの音だけで探査が可能になり、検波回路以降の回路の削減が図れました。

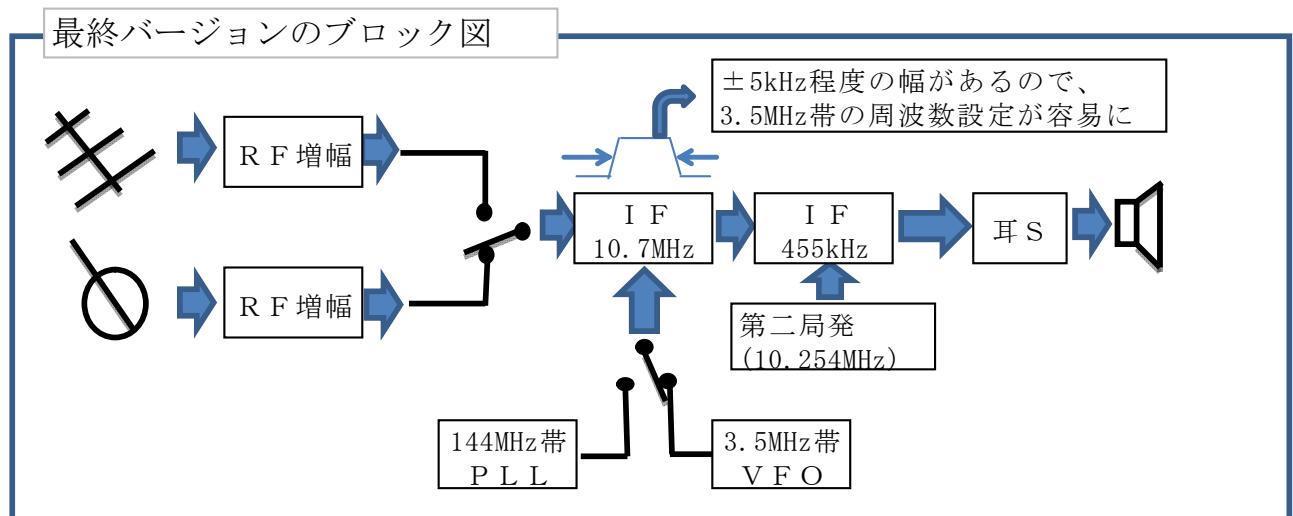


②耳 S の信号を中間周波の出力から直接入力することで10.7MHzクリスタルフィルタの帯域幅、±5kHz程度の周波数変化までは安定的に受信ができ、3.5MHzの場合のVFOでの周波数設定がかなりアバウトになりました。また、VFOの温度変化による周波数ズレで信号が聞こえなくなるような問題も軽減されています。

③それぞれの回路のアートワークの見直しによって基板が縮小され、今まで分離されていたPLLユニットを同一基板に搭載でき、各回路の接続や配線の短縮ができたことから、S/N比を向上させることができました。

以上のこととで基板の面積が約25%ほど小さくなり、結果としてケースとアンテナを含め全体的に小型軽量化が図れました。

また、ノイズやその他の問題が軽減され、最終バージョンの受信機が出来ました。



最後になりますが、「何気ない一言から始まった3.5MHz帯/144MHz帯の”デュアルバンド化”」の開発、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

今後も次のことを視野に入れ、楽しみながら開発を進めていきたいと思います。

- ①新人向けに操作の簡単な受信機(145.66MHz/145.78MHzの2波のみ)の開発。
- ②同じく、3.5MHz用(3.52MHz/3.57MHzの2波のみ)の開発。
- ③145.66MHz/145.78MHz/3.52MHz/3.57MHzの4波固定の機器の開発……新人の練習向け。
- ④3.5MHz帯のPLL化。・・・3.50MHz～3.59MHz、10kHzステップ+VFO

これからもARDF人口増加に向け、操作の簡単な機器の開発に力を入れていきたいと思っています。より良い機器の製作ができるよう、皆様のご意見を頂きたく、よろしくお願ひいたします。

# ヘイロー・アンテナの製作

JA0QBY 西原辰雄

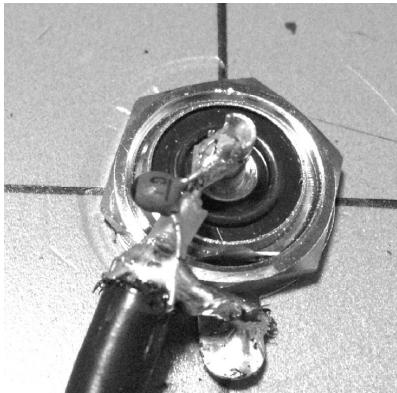
## 製作材料(1台分)

番号	品名	規格等	個数	単価(円)	金額(円)
1	アルミフラットバー	10mm幅、1t、長さ：1000mm	2	110	220
2	低発泡塩化ビニル	300×430×3t 灰色(6台分)	1	1,500	1,500
3	プラスチック L棒	25×25×1000mm	1	350	350
4	ネジ	M3×10 平ワッシャ、ナット付	4	10	40
5	ネジ	3φ×10mm タッピングビス	5	5	25
6	M型コネクタ	丸タイプ座	1	100	100
7	笠にプラスチック皿	38cmφ	1	240	240
8	トリマーコンデンサ	30pF	1	100	100
9	セラミックコンデンサ	10pF 50WV	2	10	20
10	同軸ケーブル	3D-2V 20cm	1	110	110

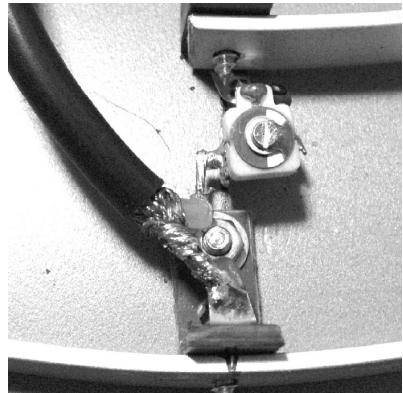
合計：2,705円

\* 価格は参考です。(2)の低発泡塩化ビニル板はアクリル板、プラスチック板等でOK

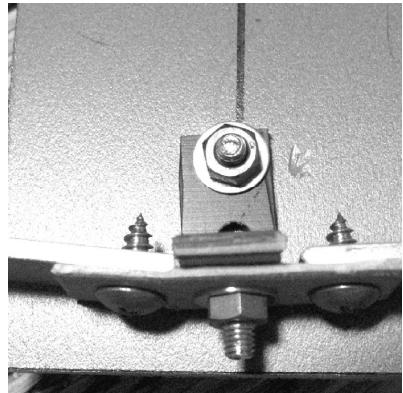
## 参考写真



コネクタ部

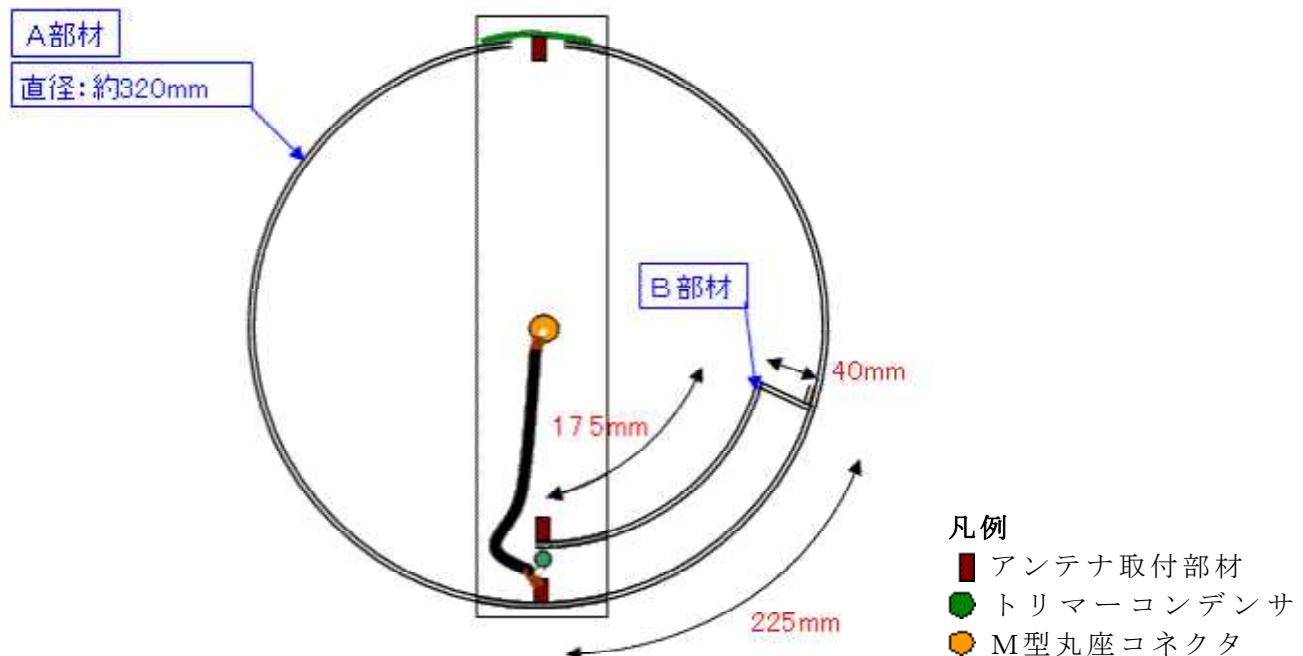


ガンママッチ給電部



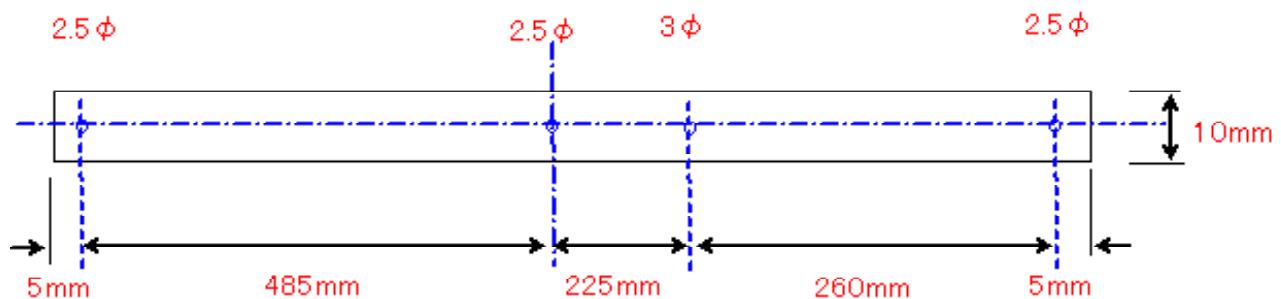
エレメント先端部分

## アンテナエレメント、ガンママッチ加工図

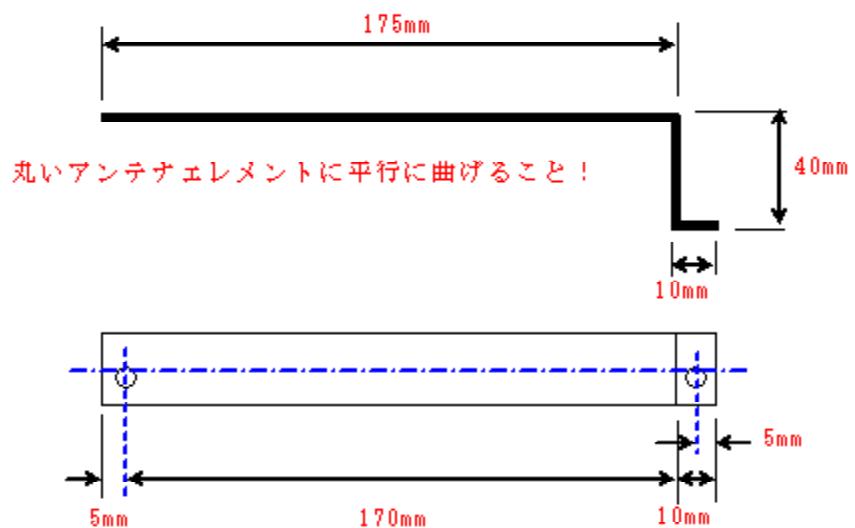


ヘイロー・アンテナ全体図

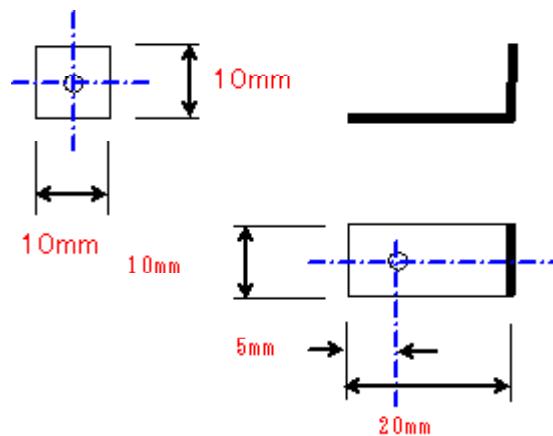
### A部材加工図



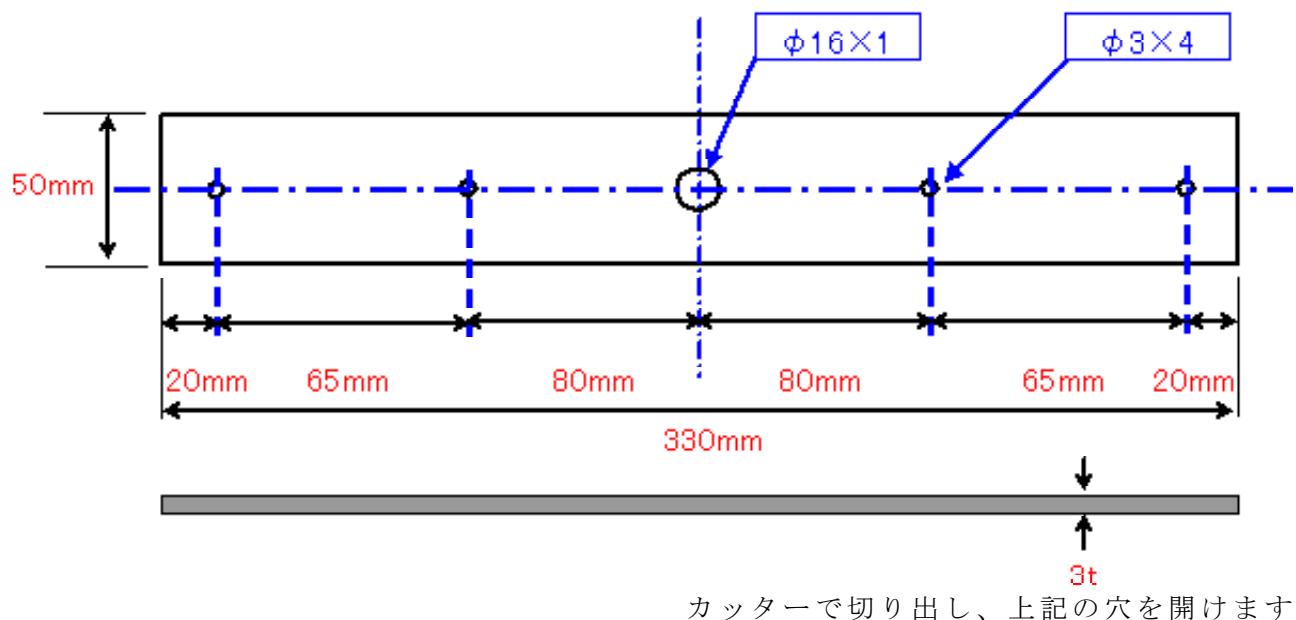
### B部材加工図



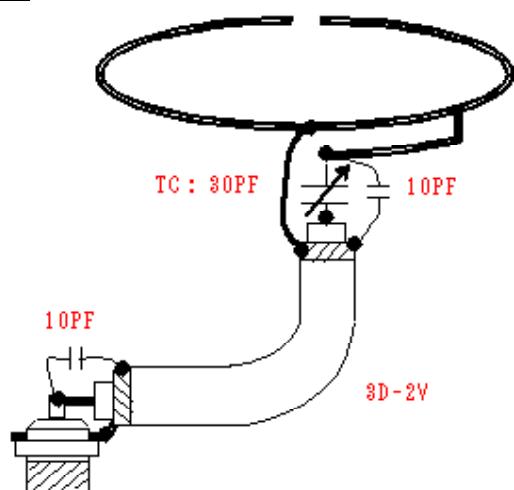
## アンテナ取付部加工図



## ベース板加工図



## 調整



T C (トリマコンデンサ)調整棒で回し、S W R 最小点を探ります。

周囲の影響を受けます。

自分を含め、出来るだけ周囲の物品から離して調整して下さい。

雨防止用カサを付けると同調点が下がりますので、その際はT Cを再調整して下さい。

M型コネクタ座

# 中国製受信機を共同購入しませんか？

A R D F をやる時に困るのが、受信機です。マスプロの八木アンテナにハンディ機で参加したのは20年も前、今は受信専用機で競技しています。かつてはミズホ通信などが販売していましたが、国産の完成品の受信機は、販売されていません。東欧の自作機を輸入する方もいますが、かなりの経費がかかりますし、定型的な輸入方法も確立されていません。

中国製の受信機なら、安価入手できます。とは言え、売れるかわからないものをストックで持っているリスクは避けたいので、「共同購入」をしています。かかった経費をそれぞれに負担してもらう方法です。数や金額によって価格が変動しますが、1元=20円換算以下で購入できています。

長野A R D F クラブは、A R D F の普及を目的にいろいろな事にチャレンジしています。この共同購入もその1つで、安価な受信機を求める方が多い現状を考え、受信機などの輸入も経費のみで提供しています。利益は求めていません。

A R D F をやってみたいので購入したい方は、ぜひご連絡ください。

## ☆連絡先

〒390-0221 長野県松本市里山辺1236-1 折井 匡 090-1266-3545 je0ggtt@JARL.COM  
長野A R D F クラブ会長 (J A R L 信越 A R D F 委員長)

## 主な機械と価格

3.5MHz帯	型番	販売価格(元)	今年7月購入実績
近距離用受信機	P J - 8 0	8 2 元	1 , 4 1 0 円
近距離用受信機	R 3 5 0 0 B	8 2 元	1 , 4 1 0 円
競技用受信機	R 3 5 0 0 A	4 2 8 元	7 , 3 6 2 円
練習用送信機	T 3 5 0 0 B I	3 4 8 元	5 , 9 8 6 円
競技用送信機	T 3 5 0 0 B II	4 9 6 元	8 , 5 3 2 円
144MHz帯	型番	販売価格(元)	今年7月購入実績
近距離用受信機	P J - 2 D	2 9 5 元	5 , 0 7 4 円
競技用受信機	R F - 2 D	4 6 9 元	8 , 0 6 7 円
練習用送信機	T 1 4 4 B	2 9 8 元	5 , 1 2 6 円
競技用送信機	T 1 4 4 A	7 6 9 元	1 3 , 2 2 7 円
その他	型番	販売価格(元)	今年7月購入実績
コ ン パ ス	D F 4 0	2 0 元	3 4 4 円
パンチ(1個)	N P 0 9	1 9 元	3 2 7 円
ヘッドフォン	F 6 0 6 A 1	3 0 元	5 1 6 円

各機材の写真はこちらのURLをご覧ください <http://www.ardf.cn/qczs.asp>

注意：送信機は保証認定を受けてください。

近距離用と書いてあっても、競技には使えます。

この他に、国内送料が別にかかります。折井名義で領収書を発行します。

購入価格は、送料、注文数、外国為替相場などによって、注文の都度違います。

支払いは、受信機が皆さん的手元に到着してから、指定銀行口座へ送金してください。

# A R D F だより ~ 1 エリア (茨城) ~

## ひとこと

茨城 F O X テーリング倶楽部です。  
茨城県内を中心に構成員 20 名余で楽しんでいます。

入会は随時お受けしています。

## 大会・活動情報

名 称：茨城 F O X テーリング倶楽部  
J A R L 登録クラブ (14-4-25)

会 長：JH10KJ 池田敏雄

事 務 局：JH1DLJ 田中康正

クラブ員数：約 20 名

会 費：入会金・会費なし <寄付のみで運営>

呼出符号：JM1YHY

会 報：年 6 回発行、2011 年 7 月号で 117 号発行済

沿 革：1988 年 3 月に「水戸 F O X ギャング」を発足

1992 年 3 月に「茨城 F O X テーリング倶楽部」に拡大、現在に至る。

ホームページ：<http://www.ardf-japan.net/>

## 連絡先

担当：田中康正 jh1d1j@JARL.COM



この小さな山の上が一斉スタート(茨城方式!?)



3.5MHz 帯部門参加者

# A R D F だより ~ 1 エリア (栃木) ~

## ひとこと

### A R D F 栃木

アマチュア無線の遊び方には、いろいろとありますが、個々に C W ・ D X ・ 製作技術を楽しみながらも、A R D F にウエイトを置き遊んでいる栃木県で唯一のグループです。

全国的にも珍しく、A R D F 栃木には、サポート一軍団があり、練習会・大会開催及び競技参加等での遠征にと、選手のサポートを頂いています。

サポート一軍団は、宇都宮市の地域クラブとして創部40年”J H 1 Z L F 宇都宮無線クラブ”総勢45名です。

## 大会・活動情報

### ☆ A R D F 大会開催

1995年 第1回下野の国A R D F 競技大会(南那須少年自然の家周辺) 参加者30名 から2012年 第18回下野の国A R D F 競技大会(矢板市運動公園周辺)と、毎年実施し、近年ではアマチュア無線家減少の中で、高校生・中学生の参加数が急増しています。

### ☆製作技術

- 144MHz受信専用 3エレメント八木の製作 • 144MHz・3.5MHz専用受信機の製作・改造
- 144MHz無指向性送信アンテナの製作 • 3.5MHz送信アンテナの製作
- A R D F 競技大会順位決定ソフト製作 TX-Hunter (S I 対応)
- A R D F 競技用地図作成 O C A D 使用

### ☆全国大会実績

#### 2011全国大会

M 5 0 クラス	3 位
M 6 0 クラス	4 位

#### 2010全国大会

W 5 0 クラス	2 位
M 5 0 クラス	1 位
M 6 0 クラス	優勝

#### 2009全国大会

W 5 0 クラス	2 位
M 5 0 クラス	1 位
M 6 0 クラス	2 位
M 6 0 クラス	3 位



## 連絡先

JE1XXK 保 坂 登 (下野市) je1xxk@JARL.COM  
JR1EYZ 大 野 政 男 (下野市) eyz-ohno@amber.plala.or.jp  
JE1XXO 谷田部 幸 行 (宇都宮市) je1xxo@nifty.com



## A R D F だより ~ 1 エリア (群馬) ~

### ひとこと

群馬 A R D F クラブです。

A R D F 発祥の地、群馬では3.5MHzを広めていき、144MHzだけではないのですよ、A R D F には2部門あることをP R しています。

また、受信機、アンテナ、地図の作製まで手掛けけております。  
是非一度、A R D F を体験してください。

### 大会・活動情報

A R D F には144MHzと3.5MHzとがありますが、3.5MHzの大会は日本ではありません開催されません。3.5MHzを日本に広めるべく、群馬県では2部門3.5MHzと144MHzの大会を毎年5月に開催しています。

今年は渋川市赤城山にて2日間、群馬大会を開催いたしました。  
見学だけでもOKです、群馬に来てください。

また、A R D F 審判員講習会も開催しています。

A R D F という競技の勉強にもなりますし、審判員の資格を取ってからA R D F に参加すると、また違った楽しみ方ができると思います。

### 連絡先

7 M 3 R M D 清水 茂 7m3rmd@JARL.COM

# A R D F だより ~ 3 エリア (奈良) ~

## ひとこと

奈良より全国各地に懲りずに飛び回って選手としても参戦していますJF3KRL菊一です。関西地方はひとつに纏まって、地方本部大会などを実施しています。

兵庫県三木市で開催されたA R D F 大会からかなり経過した2007年に全日本大会が開催され、その後も毎年大会を開催してきました。ようやく地方本部内にもA R D F 委員会を設置して頂いて次第に地方本部内でも認識されるようになりました。

## 大会・活動情報

### ○ 関西地方大会

毎年 9 月頃に開催しています。

中国・四国はもとより、東海や関東からも多数ご参加頂いています。

今年は 9 月 16 日に神戸市北区で開催予定です。

### ○ 奈良公園 F O X ハンティング(練習会)

ゴールデンウィーク中の 5 月 5 日に、人も鹿もいっぱいの奈良公園で開催しています。

この練習会は、全国高校 A R D F 関西競技大会も兼ねており、関西 5 府県から、中学生 11 名、高校生 25 名、一般 16 名の合計 52 名のエントリーがありました。

選手はグループに分かれてスタートするA R D F 大会形式で開催をしました。F O X は、3. 5MHz と 144MHz の送信機を各 3 台を使用して行いました。

今年の参加校は、尼崎工業高校(兵庫県)、高槻高校・高槻中学校(大阪府)、紀北工業高校(和歌山県)、田辺高校(京都府)、奈良育英高校・奈良育英中学校(奈良県)の 7 校でした。

## 連絡先

A R D F 日本の主峰、植木氏を中心に、これからは「チーム関西」を掲げられるよう、関西が一丸となり、選手としても実力をつけて全国・世界に殴りこみをしたいと思います。

関西近隣の小学生などジュニア対象の A R D F 講習会など喜んでお引き受け致します。

J F 3 K R L 菊一 好史 jf3kr1@JARL.COM



## A R D F だより ~ 4 エリア(広島)~

### ひとこと

J A R L 呉 O クラブ(JH4Z0Y)です。  
呉市を中心に移動・記念局運用を楽しみながらも、毎年3月にA R D F 大会をクラブ員と  
サポートーのご協力により開催しています。

### 大会・活動情報

#### ○ A R D F 呉大会

開催して早19回を数え、毎回多数の参加を頂いています。

近年は、瀬戸内海国立公園野呂山(呉市川尻町)を開催地としています。

今年度は、近隣(広島、山口、香川、徳島、宮崎)はもとより、遠方(群馬、千葉、三重、  
奈良)からもお見えになりました。

これからも慢心せずより一層、大会の充実を目指しています。

#### ○ A R D F を通しての青少年の育成

広島市子ども文化科学館アマチュア無線クラブのご厚意により、年1~2回のA R D F  
勉強会にサポートとして参加させて頂いています。今A R D F 大会にM19クラスで数名、  
参加頂きました。

体験を通してA R D F 競技(電波探索)に興味を持ち又アマチュア無線の電波の魅力を感じて頂き少しでも寄与出来ればと思っています。

### 連絡先

J K 4 T R I 西本 富士夫 jk4tri@ms11.megaegg.ne.jp



毎年多数のご参加を頂き、来年は20回を迎えます。

# A R D F だより ~ 6 エリア(宮崎)~

## ひとこと

宮崎県の北部、高千穂に住んでいます、JK6XEY甲斐和枝です。  
熊本県境まで15分、九州自動車道の熊本益城ICから約1時間半のところです。



毎年4月に「ライオン丸練習会」を開催しています。

## 大会・活動情報

「ライオン丸」は、娘が私の髪型から名付けたものです。毎年、広島、山口、愛媛、そして九州各県から20名前後の方に参加して頂いています。

九州では、鹿児島と長崎で公認大会が行われていますが、宮崎ではスタッフもおりません。1人で全ての準備を行っているため「練習会」としていますが、十分に楽しんで頂けるコース設定ですので、競技時間は2時間10分～20分としています。

九州の大会が少なく、四国や中国地方まで足を伸ばして参加していますので、少しでもお返しができればと思いながら続けています。



前夜祭は、高千穂牛のバーベキューです。  
そして宿泊は我が家。皆さん、寝袋と飲み物を持参して泊まり込みます。

充実した競技設定と前夜祭で、皆さんの参加をお待ちしています。

## 連絡先

JK6XEY 甲斐 和枝 kazu.jk6xey@violet.plala.or.jp

# A R D F だより ~ 9 エリア(富山、石川、福井)~

## ひとこと

北陸レディオスポーツクラブ(H R S C)です。

J A 9 Y D X、H R S C は A R D F を中心に活動しているクラブです。

会員は北陸3県に限らず入会することができます。

入会金や会費はありません。(寄付は歓迎)

メンバーに登録すると、メーリングリストを利用して練習会などの情報を得ることができます。貸出用の受信機も準備しています。気軽に参加してみて下さい。

A R D F は自分の体力に合わせて楽しめる「アマチュア無線のスポーツ」です。

## 大会・活動情報

### ○ 北陸地方大会

富山、石川、福井の3県持ち回りで開催しています。

今年は石川県で4月29日(日)に開催しました。

### ○ 富山県大会

9月9日(日)黒部市で3.5MHz部門の開催予定です。

### ○ 練習会

年数回の練習会を実施しています。

### ○ その他

審判講習会、忘年会または新年会、J A R L 支部大会でのA R D F のP R 活動など

## 連絡先

H R S C 事務局 jh9vsw@JARL.COM 岩坂まで

富山県の人は ja9miw@JARL.COM 平田まで

## その他 連絡事項等

北陸レディオスポーツクラブ

<http://www.jarl.com/hrsc/pixyy/htdocs/kaihou/>

事務局多忙のためH P の更新が出来ていません。

# A R D F だより ~ φ エリア (新潟) ~

## ひとこと

J A R L 新潟県支部 A R D F 委員会では、新潟県大会や信越地方大会を担当しているほか、全国高校大会の運営をサポートするなど、A R D F を通じた青少年の育成に努めています。

## 大会・活動情報

### ○新潟県大会、信越地方大会

新潟県では、新潟県 A R D F 競技大会を毎年開催しているほか、信越地方大会を長野県と交代で 2 年に 1 度開催しています。信越地方のみならず、関東地区など幅広いエリアから、40 人近く参加されます。

新潟大会、信越地方大会とも、総務省の情報通信月間行事として登録され、関係の皆様から多くのご支援を頂いております。

### ○全国高等学校 A R D F 競技大会

阿賀野市では毎年、全国高等学校文化連盟アマチュア無線専門部設立準備会の主催する、全国高等学校 A R D F 競技大会が開催されています。高校生に限らず、一般の参加も可能で、参加者は総勢 200 名を超え、さながら一大交流会の様相です。

内容は大変濃く、

1 日目：公開練習・受信機調整、開会ミーティングなど

2 日目：競技、高校交流会「沢登り」、懇親会など

3 日目：後片付け、解散

のような日程で行っています。特に沢登りは一度は体験頂きたい行事で、みんな、ずぶ濡れになりながら川を上り、ゴールの滝壺を目指します。

また、設立準備会では、A R D F 競技技術研修会を行い、探索方法や送信機の設置方法等の知識を深め、生徒・指導者とともに技術の向上に努めています。

## 連絡先

J F φ F D T 佐藤 久 jf0fdt@JARL.COM



第 9 回 全国高等学校 A R D F 競技大会  
H24/7/28~7/30 新潟県阿賀野市

ごす  
五頭連峰少年自然の家 周辺

# A R D F だより ~ φ エリア (長野) ~

## ひとこと

信越地方本部や長野県支部はA R D F に力をいれて、1990年より支部A R D F 競技大会を開催し、1991年にはA R D F 担当幹事を設け、2002年からはA R D F 委員会が設置され、現在に至っています。1992年から新潟・長野が交互に地方大会を開催しています。1992年には上伊那郡高遠町(当時)で「92全日本A R D F 競技大会」、2010年には「2010全日本A R D F 競技大会」が諏訪郡富士見町で開催されました。

このように支部の協力のもとで選手も頑張り、全日本大会の支部対抗戦では1996年より2007年までの12年のうち2連覇2回を含み8回優勝(4回準優勝)していますが、クラス分けが増えたことと、最近は高校生を擁する支部が大変強くポイントを稼いでいるせいで、優勝から遠ざかっています。

## 大会・活動情報

### ○信越地方大会

新潟県・長野県で2年に1度開催しています。今年は5月に新潟県で開催されました。

### ○長野県支部大会

信越大会がある場合、その前日に3.5MHzの大会を行います。無い場合は土日2日間で開催し、144MHz部門と3.5MHz部門に分けて開催します。1993年の支部大会で初めて3.5MHzを開催したのが長野県で、その伝統が今も続いています。

2012年は松本市で6月9日(土)・10日(日)、支部大会を開催しました。

## 連絡先

J E φ G T T 折井 匡 je0gtt@JARL.COM 090-1266-3545

## その他 連絡事項等

長野A R D F クラブでは貸出し用受信機(ミズホFRX-2001)が10台ほどあります。クラブ等主宰のF O Xなどに貸出しを希望される方はご連絡ください。送料や電池代はご負担ください。また、大会に参加したいけど受信機が無い、と困っている方も、ご連絡をお待ちしています。(送信機もご相談ください)

当クラブは初の「A R D F クラブ」として発足してから今年結成21周年を迎えました。主催する大会には多くのスポンサーが付いていただき、参加賞や賞品をいただき、「長野スタイル」として定着してきました。

また、「初めて」の事にチャレンジしています。3.5MHz大会の開催、S Iなどの電子パンチの導入、ヘイローアンテナでの大会、外国製送信機での大会開催等、良さそうな事は、何でも率先して行っています。

中国からの受信機を共同購入していて、多くの方から喜ばれています。

そのようなクラブですが、新しい会員が少ないのが悩みです。一緒に楽しみたい方がいましたら、ぜひ仲間になってください。お待ちしています。

# ARD F 関連競技会の開催状況

身边でどんな参加機会があるのか、  
平成22年(2010年)8月以降の実績と予定を調べました

JA1ANF 小森田克比呂

地方	開催日	大会名(一部省略しています)	開催地	波長(m)
北海道	H22. 9.12	2010北海道地方大会	帯広市帯広の森	2
	H23. 9.11	2011(20th)北海道地方大会	美唄市	2
	H24. 9. 9	2012北海道地方大会	旭川市神楽岡公園	2
東北	H22. 9.10	2010東北地方大会	秋田県大館市	2
	H22. 10. 3	福島県支部大会 Fox Hunt	福島県中通り地方	2
	H22. 10. 3	岩手県支部大会 Fox Hunt (東日本大震災)	盛岡市都南ついのもり	2
	H23. 3.11	東北地方兼福島県支部大会	福島県会津地方	2
	H24. 9. 2			
関東	H22. 8.28	ARD F 栃木世界大会強化練習会	栃木県塩谷郡塩谷町	80
	H22. 8.29	ARD F 栃木世界大会強化練習会	栃木県塩谷郡塩谷町	2
	H22. 10. 9	さいたま練習会	埼玉県さいたま市	2
	H22. 11.27	第19回茨城大会	茨城県水戸市	80
	H22. 11.28	第19回茨城大会	茨城県水戸市	2
	H23. 5.14	高等学校北関東予選	群馬県渋谷代々木公園	80
	H23. 5.15	第1回群馬県支部大会	群馬県渋谷代々木公園	2
	H23. 9.18	東京初心者練習会	横浜市YRP	2
	H23. 10. 2	第17回下野の国大会 兼高校大会	埼玉県浦和区	2
	H23. 10. 2	神奈川初心者練習会	茨城県水戸市森林公園	2
	H23. 10. 16	埼玉初心者練習会	茨城県水戸市森林公園	80
	H23. 11.19	第20回茨城大会	茨城県水戸市森林公園	2
	H23. 11.20	第20回茨城大会	茨城県水戸市森林公園	2
	H24. 2.19	第1回パークARD F in 栃木	下野市国分寺総合運動公園	80
	H24. 3. 4	第2回パークARD F	茨城県水戸市森林公園	2
	H24. 3.11	栃木練習会	茨城県水戸市森林公園	2
	H24. 4. 1	第3回パークARD F	茨城県水戸市森林公園	2
	H24. 4.22	第18回下野の国大会	横浜市都筑区	2
	H24. 5.12	2012群馬県大会	栃木県矢板市	80
	H24. 5.13	2012群馬県大会	群馬県渋川市	2
	H24. 6.16	第4回パークARD F	群馬県渋川市	2
	H24. 7.14	第5回パークARD F	群馬県昭和記念公園	2
	H24. 7.22	第1回ARD F東京練習会	東京都町田市立野津田公園	2
	H24. 11.17	第20回茨城大会	茨城県水戸市	80
	H24. 11.18	第20回茨城大会	茨城県水戸市	2
信越	H22. 8. 1	第7回全国高等学校大会	新潟県阿賀野市	2
	H22. 10.23	2010全日本大会エキシビション	長野県富士見町	80
	H22. 10.24	2010全日本大会	長野県富士見町	2
	H23. 5.22	第19回新潟県大会	長野県諏訪市	80
	H23. 6.11	2011ARD F長野大会	長野県諏訪市	80
	H23. 6.12	2011ARD F信越大会	長野県諏訪市	2
	H23. 7.31	第8回全国高等学校大会	長野県諏訪市	2
	H24. 5.26	第20回新潟県大会	長野県諏訪市	80
	H24. 5.27	第21回信越地方大会	新潟県長岡市	2
	H24. 6. 9	2012長野県支部大会	新潟県長岡市	80
	H24. 6.10	2012長野県支部大会	新潟県長岡市	2
	H24. 7.29	第9回全国高等学校大会	新潟県阿賀野市	2

地方	開催日	大会名(一部省略しています)	開催地	波長(m)
北陸	H22. 8. 28 H22. 9. 12 H23. 9. 11 H24. 4. 29 H24. 9. 9	黒部市練習会 富山県大会 2011北陸地方大会 2012北陸地方大会 富山県支部大会	富山県黒部市 富山県黒部市 富山県黒部市宮野運動公園 石川県鹿島郡中能登 富山県黒部市	2 2 2 2 80
東海	H22. 9. 19 H22. 10. 3 H22. 11. 28 H22. 12. 5 H23. 1. 30 H23. 9. 11 H23. 12. 4 H24. 1. 28 H24. 5. 19 H24. 9. 30 H24. 11. 24 H24. 11. 25	静岡県支部大会兼静岡県高校大会 2010東海地方大会 岐阜県支部大会 モービルFox 2010 第22回静岡県高等学校冬季県大会 静岡県支部大会兼静岡県高校大会 モービルFox 2011 第22回静岡県高等学校冬季県大会 第24回静岡県高等学校夏季県大会 静岡県支部大会兼静岡県高校大会 2012全日本大会エキシビション 2012全日本大会	静岡県富士市 静岡県富士市 静岡県伊豆高原 静岡県富士市 静岡県三重郡の市 静岡県三重郡立森林公園 静岡県三重郡駿河区 静岡県三重郡美杉町 静岡県三重郡立森林公園 静岡県三重郡立森林公園 静岡県三重郡駿河区 岐阜県岐阜市百年公園 岐阜市ファミリーパーク	2 2 2 2, 0.7 2 2 2, 0.7 2 2 2 2 2 2 2 80
関西	H22. 10. 3 H23. 5. 5 H23. 9. 11 H24. 5. 5	2010関西地方本部大会 第38回 Fox Hunt 練習会 2011関西地方本部大会 奈良県支部 Fox Hunt 練習会	兵庫県加東市 奈良市奈良公園 滋賀県蒲生郡竜王町 奈良市奈良公園	2 80 2 2, 80
中国	H22. 11. 7 H23. 3. 27 H23. 4. 17 H24. 3. 25 H24. 11. 18	第22回 広島県大会 第18回 吳大会 W A R V 2011大会 第19回 吴大会 2012中国地方大会	広島県東広島市 広島県吳市 岡山県真庭市 広島県呉市野呂山 山口県	2 2 2 2 2
四国	H22. 9. 20 H22. 11. 14 H23. 3. 6 H23. 5. 22 H23. 9. 3 H23. 9. 4 H23. 10. 2 H23. 10. 29 H23. 10. 30 H23. 12. 18 H24. 4. 30 H24. 5. 6 H24. 6. 3 H24. 11. 11	2010かがわ大会 第18回 北四国大会 2011北宇和大会 2011四国地方大会 R3大会強化練習会 R3大会強化練習会 徳島練習会 徳島練習会 2011全日本大会エキシビション 2011全日本大会 A R D F 香川練習会 2012かがわ大会 2012徳島県支部大会 2012四国地方大会 第19回 北四国大会	香川県高松市 香川県東かがわ市 香川県宇和板町 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県高松市 香川県伊予市 香川県伊予市	80 2 2 2 80 2 2 2 80 2 2 2 80 2 2 2 2 2
九州	H22. 10. 3 H22. 10. 17 H23. 3. 13 H23. 4. 24 H23. 5. 15 H23. 8. 21 H24. 3. 11	第7回 長崎県支部 Fox Hunt 第12回 西九州A R D F 公認競技大会 第17回 きやったもんせ かごつま大会 ライオン丸練習会 第13回 西九州A R D F 公認競技大会 第18回 きやったもんせ かごつま大会 第19回 きやったもんせ かごつま大会	長崎市あぐりの丘 長崎市あぐりの丘 鹿児島市上谷口町 宮崎県西臼杵郡高千穂町 佐賀県武雄市 鹿児島市上谷口町 鹿児島市上谷口町	2 2 2 2 2 2 2 2
国際	2010. 9. 15 2011. 9. 25 2012. 9. 12	第15回 世界大会 第 8回 IARU Region 3 大会 第16回 世界大会	Opatia, Croatia Victoria, Australia Kopaonik, Serbia	2, 80 2, 80 2, 80

国際大会はJARLが選手団を派遣するもののみを記載。(日付は競技初日)

出典 : JARL News、JARL web 地方便り-行事予定、ARDF日本 など

# A R D F 競技大会参加申込書

ゼッケンNo.			
←この欄は事務用ですので書き込まないでください			
		提出日	年   月   日
フリガナ		生年月日	
氏名		19 年 月 日生 (大会開催年12月31日現在 満 歳)	
コールサイン(ある方のみ)		性別	J A R L会員
		<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員
住所			
電話番号(自宅)		勤務先(学校名)	
電話番号(携帯)			
参加種別	<input type="checkbox"/> 選手 <input type="checkbox"/> 引率・見学	Eメールアドレス	
競技部門	<input type="checkbox"/> 3.5MHz帯 <input type="checkbox"/> 144MHz帯	@	
競技クラス	女性 <input type="checkbox"/> W19 <input type="checkbox"/> W21 <input type="checkbox"/> W35 <input type="checkbox"/> W50 男性 <input type="checkbox"/> M19 <input type="checkbox"/> M21 <input type="checkbox"/> M40 <input type="checkbox"/> M50 <input type="checkbox"/> M60 <input type="checkbox"/> その他( )		
利用交通機関	<input type="checkbox"/> 自家用車等(同乗含) <input type="checkbox"/> 電車・バス <input type="checkbox"/> その他( )		
<b>誓約書</b> 私は、大会参加について健康状態は良好であり、競技に支障のないことを誓約致します。また、いかなる障害及び物損事故を被った場合でも、実行委員会やその他関係機関に対し、一切責任を求めません。			
<b>参加者 氏名</b> _____ 印			
<b>承認書</b> (18歳未満の方は必ず記入のこと) 上記の者が、競技大会に参加するにあたり、一切の責任を私(保護者)が負うとともに、本大会への参加を承認致します。			
<b>保護者 氏名</b> _____ 印			
<b>備考</b>			

ハムフェア2012配布用 V1.0  
編集：JJ4KME 古城朋和  
印刷：長野ARDFクラブ